

## 平成22年度財務諸表の概要について

このたび、公立大学法人島根県立大学は、平成22年度の財務諸表等が平成23年8月23日、島根県知事の承認を受けましたので、公表します。

今回の決算は、公立大学法人化後第4期目となる決算であり、財務諸表は、企業会計原則に準拠しつつ、公立大学法人特有の会計制度を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成したものです。

### 1. 財務諸表

(単位：百万円)

区分	項目	H22	H21	差引
貸借対照表	資産	16,123	16,296	▲174
	負債	2,465	2,451	14
	純資産	13,658	13,846	▲188
	当期末処分利益	5	117	▲112
損益計算書	経常費用	2,903	2,703	199
	経常収益	2,887	2,820	67
	当期純利益(損失)	▲16	117	▲133
	当期総利益	5	117	▲112
収支決算	収入計	3,128	3,101	27
	支出計	3,146	3,003	143
	収支差	▲18	98	▲116

### 2. 決算の概要

- 貸借対照表は、法人の財政状態を表示しています。  
(増減状況) 減価償却累計額の増等により資産が減少。固定資産見返運営費交付金等の増等により負債が増加。当期末処分利益の減等により純資産が減少。
- 損益計算書は、法人の運営状況・経営成績を表示しています。  
(増減状況) 退職手当の増等により経常費用が増加。運営費交付金収益(退職手当分)の増等により経常収益が増加。その結果、当期総利益が減少。
- 収支決算は、法人予算に対する実績を表示しています。  
(増減状況) 運営費交付金収入(退職手当分)の増等により収入計が増加。退職手当の増等により支出計が増加。その結果、収支差が減少。
- 剰余金の額は、**5百万円**となりました(繰越事業費5百万円)。なお、旧NEAR財団寄附金債務振替及び目的積立金取崩を当初計画並みに実施した場合には、剰余金が約64百万円上乘せられることが見込まれました。
- 法人財務運営の指標としている自己財源比率については、**45.4%**に上昇しました。  
(H21:45.1%、H20:44.5%、H19:43.9%)

**自己財源比率**とは、支出決算額に対する自己財源(収入決算額から運営費交付金を除いた額)の比率をいう。

※ただし、収入・支出それぞれから奨学費、退職手当、特殊要因経費補助金、学校共済共済費法人負担相当額を控除。